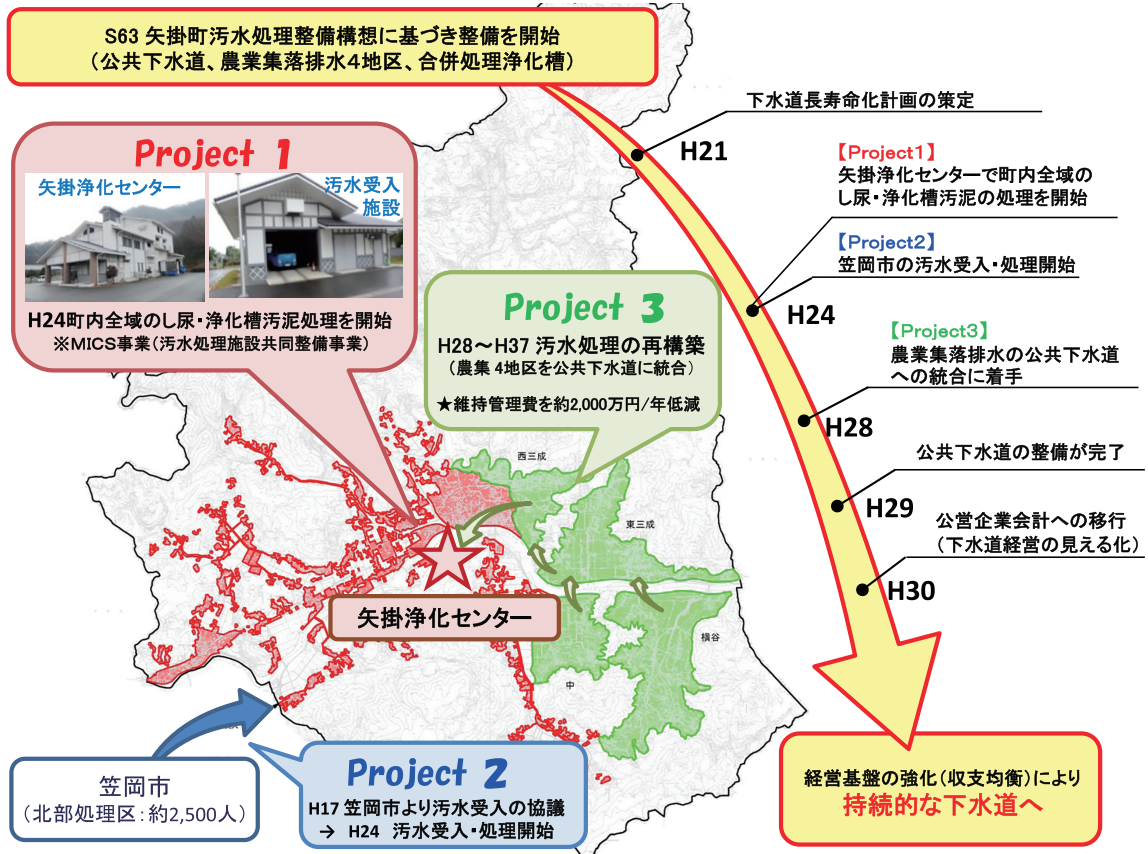


アセットマネジメント部門

下水道事業の広域化・共同化

矢掛町



PRポイント!

矢掛町では、**汚水処理を矢掛浄化センターに集約**することで事業の効率化を図っています。これまで、広域し尿処理場の老朽化に伴い、町内全域のし尿・浄化槽汚泥を矢掛浄化センターにて処理するMICS事業に取り組みました。また、笠岡市の下水道整備にあたっては、**一部地区の汚水を矢掛町が受入・処理することが双方にとって最もメリット**がある手法であったため、汚水を受入・処理することとしました。今後は、**全ての農業集落排水を公共下水道へ統合**することで、施設の効率化を進めていく予定です。

矢掛町の公共下水道は、平成29年度末に計画区域内の全ての整備が完了となり、本格的なマネジメントの時代を迎えます。広域化・共同化だけでなく、施設の長寿命化を図るとともに、公営企業会計の導入による下水道経営の見える化を図りながら、経営基盤の強化による持続的な下水道を目指します。

Key Person



矢掛町長
山野 通彦

矢掛町では、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を目的として、公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の各事業を有効に活用し、汚水処理の早期完了に向け事業を推進してきました。一方で、少子高齢化など社会情勢は大きく変化し、今後の町運営における負担軽減を図るべく、時代の変遷に真摯に向き合い、職員とともに今後のあるべき姿を研究しながら、あらゆる手法を先進的に導入し、現在に至っています。

今後も、町民の安心安全な生活の為、安定した事業継続を目指し、アセットマネジメントの考え方を踏まえて効率的な事業運営を進めるべく、職員一同研鑽を重ねてまいります。